

## ザグレブ大地震に対する復興支援金/被災者義捐金について

2020年4月1日掲載

2020年6月12日更新

3月22日早朝、ザグレブ北部を震源とするマグニチュード5.5の地震が発生しました。今回の地震は、同国で約140年ぶりとなる大規模地震であり、市内各地で大きな被害が生じています。クロアチア国民の皆様に対し、心よりお見舞いを申し上げますと共に、被災地の一日も早い復旧・復興を深くお祈りします。

大型地震に対する復興支援金/被災者義捐金の送金先に関し、クロアチア政府、ザグレブ市赤十字社及びザグレブ市が各々以下の口座を開設しています。また、5月には、代表的な文化団体であるクロアチア科学技術アカデミー（参考3）が多大な損傷を被ったとして新しく口座を開設しました。送金を希望される方はご参照下さい。

### ■クロアチア財務省 (Ministry of Finance)

Donations for the "Together for Zagreb"

<http://www.mvep.hr/en/info-servis/press-releases/32745.html>

※ザグレブ大地震による被災地の復旧・復興活動を支えるための支援金。

※日本国内の金融機関から日本円で送金を行う際には、「中継銀行 (intermediate bank)」として、以下の金融機関をご指定下さい。

金融機関名：KBC BANK NV

SWIFT/BIC コード：KREDBEBB

### ■ザグレブ市赤十字社 (City Red Cross Society Zagreb)

Donations for the "Blue Heart"

<https://ckzg.hr/en/2020/03/31/lets-show-togetherness-and-solidarity/>

※新型コロナウイルス及びザグレブ大地震により被害を受けた市民に対する義捐金。

### ■ザグレブ市 (City of Zagreb)

Earthquake Relief Fund

<https://www.zagreb.hr/en/earthquake-relief-fund/156567>

## ■クロアチア科学技術アカデミー（HAZU）【追加】

Zagreb Earthquake Relief

### 送金先情報

受取人：ZAKLADA Hrvatske akademije znanosti i umjetnosti

住所：Trg Nikole Subica 11, Zagreb, Croatia (郵便番号：10000)

IBAN：HR63 2340 0091 5110 6946 0

銀行名：Privredna banka Zagreb

銀行の住所：Radnicka cesta 50, Zagreb, Croatia (郵便番号：10000)

SWIFTコード：PBZGHR2X

送金目的：Donation for the restoration of the Croatian Academy buildings

なお、駐日クロアチア大使館を通じた振り込み窓口は、新型コロナウイルス対策などの事情で設置されないこととなりました。お詫びとともにお知らせします。

### <参考1：ザグレブ大地震について>

3月22日早朝、ザグレブ北部を震源とするマグニチュード5.5（午前6時24分）及び5.0（午前7時01分）の地震が発生し、その後も28日正午までに111回の余震が発生しました。今回の地震は、同国で約140年ぶりとなる大規模地震であり、市内各地で大きな被害が生じています。

これまでに確認されている情報によれば、死傷者は27名（死者1名、重傷17名、軽傷9名）となっています。新型コロナウイルス対策のため多くの市民が外出を控えていたことも幸いし、地震の規模に比べて負傷者数は抑えられものの、柔道クラブに所属する15歳の少女が犠牲となりました。



一方、物的被害も甚大です。歴史的建造物が多く残るザグレブ旧市街を中心に、破損した建物は250棟を超え、国の中枢である国会議事堂に加え、国のシンボルであるザグレブ大聖堂、戦勝記念追悼等を行うミロゴイ墓地など、クロアチア国民の精神的支柱である建造物も大きな損傷を受けました。

倒壊のおそれのある建物は、現時点で判明しているだけでも400棟以上に及び、29日までに約2万件の破損報告があるものの、現場調査は約5千件しか実施できておらず、被害の全体像が明らかになっていません。余震が続く中、更なる被害を避けるため、多くの人々が現在も避難生活を続けております。特に、複数の病院が破損し、出産を控えた女性や生まれたばかりの新生児を抱えた女性が避難を余儀なくされ、報道でも大きく伝えられました。



また、上述の国会議事堂では建物内部が大きく損傷し、議事の再開が困難となったことから、現在、臨時の民間会社ビルの地下で国会審議が行われています。首相、閣僚、国会議長が3月分の給料を返上して義捐金とし、議員にも賛同を呼びかけています。

今、世界中が、新型コロナウイルスがもたらす脅威と戦っていますが、当地においても感染が急速に拡大しています（3月31日現在：感染者867名、死者6名）。こうした中、首都を直撃する大規模な災害も重なり、経済・社会は大きな打撃を受けており、クロアチアは、「ウイルスとの戦い」と「震災復旧」という建国史上例のない大きな課題に直面しています。

#### <参考2：地震による被害の様相（クロアチア国営テレビ、クロアチア語）>

<http://vijesti.hrt.hr/594132/jak-potres-pogodio-zagreb?jwsorce=cl>（写真・動画）

#### <参考3：クロアチア科学技術アカデミー（Hrvatska akademija znanosti i umjetnosti, HAZU）について>

##### 1. 概要

クロアチア科学技術アカデミーは、科学研究や芸術文化活動の促進などを目的としてクロアチアの法律に基づき設置されている権威のある文化団体です。19世紀に起こったクロアチア文化の再生運動の一環として、シュトロスマイエル司教により創立されたもので、150年以上の歴史があります。本部は、当館の道路隔てた向かい側の広場にあるネオ・ルネサンス様式の建物であり、その同じ広場の中にHAZU図書館もあります。ザグレブ市内には、その他、銅像博物館グリプトテカ等があります。クロアチア全土で36件もの関連施設を有しており、各施設は、文化的価値が高い貴重な芸術作品を保管・展示しているほか、文化事業などにも利用されています。

## 2. HAZU と日本大使館の協力

クロアチア科学技術アカデミーはこれまで当館の文化事業に無償で会場を提供するなど、クロアチアにおける日本文化の普及に長年にわたり協力してきました。当館や国際交流基金がHAZU との協力のもと実施した文化事業には以下のようなものがあります。



令和元年 1 1 月「太鼓・三味線コンサート」



令和元年 5 月「茶道ワークショップ」



平成 3 0 年 1 0 月「俳句講演」



平成 2 6 年 7 月「日本建築に関する講演会」



平成 2 6 年 6 月「国際交流基金巡回展」  
(1960年代日本の都市プロジェクト)



平成 2 5 年 1 1 月「国際交流基金巡回展」  
(東北—風土・人・暮らし)